

キャリアサポートレター vol. 1

キャリア支援室長の穂垣です。音大生の進路について、皆さんと一緒に情報を共有させていただくために「キャリアサポートレター」を創刊しました。卒業生、先生はもとより企業の方からもメッセージをいただいています。夏休みにじっくりと将来の進路を考える機会にしてください。



2024年8月18日 発行
エリザベト音楽大学
キャリアサポート委員会キャリア支援室
mail:gakusei01@eum.ac.jp
tel:082-221-0918

活躍する卒業生

広島県警察 総務部広報課 音楽隊
森上美由貴さん（2016年3月卒業 トロンボーン）



お世話になった方々の支えのもと－カラーガードから警察官に－

私は、大学卒業と同時に広島県警察音楽隊カラーガードに嘱託職員として就職しました。1つ上の先輩がカラーガードで活躍されているのを見聞きて「そういう仕事があるんだ」と知ったのがきっかけです。しかしカラーガードで勤務できるのは5年という任期があったので、その先どうしようかと考えていたところ音楽隊の楽長や先輩から「警察官の試験を受けてみてはどうか」と声をかけていただきました。2回目のチャレンジで警察官の試験に合格。警察官として交番勤務を約3年半して、2024年4月から音楽隊の配属となりました。大学を卒業して8年になりますが、警察官としてまた音楽ができる機会をいただけたことを大変うれしく思っています。現職となった4月からは、音楽隊の派遣係として年間約100回の演奏会の事前交渉やプログラム作成に携わりながら、自身のトロンボーンの練習も再開。また好きな音楽の仕事ができるのも、今までお世話になった方々の支えがあったからです。皆さんも視野を広げていろいろな経験をしてください。私も警察音楽隊として県民の皆さんの心に響く演奏、心に届く警察広報をしてまいります。皆さんも一緒に働いてみませんか。

音大生の進路 あんな道こんな道 「音楽で食べていくには」物語その1

エリザベト音楽大学声楽専攻
専任講師 升島唯博



音大で学びたいと思っている人やその保証人の方々の大きな不安の種が、卒業したらどうやって収入を得たらいいのか？ということだと思います。今回は私の経験をもとに、歌手としての生業とそこに至るまでの道筋をお話します。歌を歌って報酬を頂く方法の一つではありません。ソリストとしてコンサートやオペラで歌う、合唱の一員として参加する。ブライダルなどのチャペルで歌う、映像音楽、ゲーム音楽等の録音で収入を得る、大学やオペラ研修所などの助演、音楽教室や合唱団の講師。これらのどこか一か所からの収入で生計を立てられる人や、いくつかの方法を組み合わせることで生計を立てている人もいます。

私はエリザベト音楽大学を卒業し、ドイツに留学しました。ドイツの音大で勉強した後は、ドイツのオペラ劇場や夏の音楽フェスティバルなどで歌い生計を立てていました。

ドイツでは音楽家は優遇されています。私が歌手として生活していくために、劇場の専属ソリストになる、専属合唱団員になるという道がありました。それ以外に専属ではないが、作品ごとの契約で報酬を得るという方法もありました。前者と後者の違いは、専属歌手には様々な保障が付き、作品契約には退職金などの保障はつかないことです。私が作品契約で報酬を得ていた時は、1年間に4作品のオペラに参加すれば自分一人が生活可能な収入を得ることができていました。それぞれの作品の稽古期間は約1カ月半。極端な話をするなら、半年歌って半年休みです。

日本での歌の収入は主にオペラを歌い、作品ごとに報酬を得ることでした。それ以外にも、ドイツ留学の経験からドイツ語を教えたり、歌のレッスンをして収入を得ていました。日本に帰国してからは、東京での人脈が全くなかったため、東京二期会というオペラ団体に所属し、主催オペラ公演に出演し顔と名前を覚えてもらうことから始めました。

続きは、また次回にお話します。

企業担当者からワンポイントメッセージ 求める人材像



(株) ひろぎんホールディングス
執行役員サステナビリティ統括部長 木下麻子さん



「すべての人は、ハイパフォーマーである」これが私の信念です。長年採用・育成に関わっている中で、人はそれぞれに「咲く」タイミングがあることを見てきました。入社直後にすぐ頭角を現す人、最初の配属ではうまくいかなくても異動したとたんに活躍する人…など、さまざまです。そんな中、企業が採用時に注目するのは『「咲く」タイミングまで頑張る動機となる目標を持っているか?』という点です。それは立派なものである必要はありません。「どこでも通用する強みを30歳までに身に付け自由になりたい」「お客さまに選ばれる人間になり自信をつけたい」「年1回海外旅行に行けるくらい稼げるように早くなりたい」など、自分がワクワクするものなら何でもいいのです。目標があれば、すべての経験は「学び」になり、腐らず頑張りが続けることができます。目標は今、明確に持っている必要はありません。それは、日々の「うれしい」「悲しい」といった感情の裏に隠れていますので、ぜひ学生生活の中で沢山の体験をし、いろんなことを感じて、自分の大切にしたいこと・目指したいことを発見してくださいね！